

令和5年度会員企業表彰

優秀賞2社

(敬称略)

会社名	所在地	代表者名	業種
エコデザイン株式会社	比企郡小川町青山 926-1	長倉 広弥	電気機械器具製造業
SDGs達成に向けたオゾン応用展開事業グループの創生			
<p>当社は「循環型産業構造の構築に向けた技術的貢献」を理念として2000年に創業いたしました。現在では主に「オゾン」という物質の社会実装を推進すべく、関連する技術開発や製品開発を展開しております。</p> <p>オゾンは環境に優しい機能的物質としてSDGsとも親和性が高く、2022年11月には第2回「彩の国SDGs技術賞大賞」を受賞いたしました。</p> <p>今回の応募対象事業は、これまでに培ってきた、オゾンを「発生する」「水などに溶解（反応）させる」「測定する」それぞれに対する当社独自のコア技術を基盤として、『オゾン×SDGs』をテーマに農業や養殖などの一次産業や食品業界・化学業界・水処理等の各種産業に対して事業展開を推し進めようという取り組みになります。</p>			
株式会社大勇フリーズ	川口市木曾呂7-1	杉山 篤	管工事業
～独自技術DOWT工法～			
凍結工法の提供で水道事業が抱える様々な課題解決に貢献したい			
<p>当社は1983年設立、土木施工会社として創業し、約25年前より管工事に伴う不断水凍結工法に専門特化し事業展開しております。水道事業の予算縮小、管路の老朽化、震災対応、公共施設や大型マンション、商工業施設、病院等の密集する地域の増加等、一時的断水でも多くの住民生活や業務への影響が懸念される水道工事において、『水を止めず』に施工する当社の独自技術は、官公庁・民間からも注目され、年間約6,000ヶ所の施工実績があります。特に、当社独自技術であるDOWT工法は、解凍作業にバーナー等火器ではなく、当社が独自開発した電磁誘導加熱器具を用い、安全、安心、解凍時間の短縮を実現いたしました。数々の特許も有し、効率よく確実な施工が可能となるよう、新たな工法や特殊機器の自社開発にも取り組み続けております。</p>			

特別賞 2 社

(敬称略)

会社名	所在地	代表者名	業種
株式会社サンワ	本社営業部 狭山市根岸 571	美澤 暁彦	製造業
階段歩行困難者の避難 非常用階段避難車「チェアキャリダン」			
<p>当社は89年前に農業用運搬車の生産から始まり、その後時代の流れとともに主事業を物流用階段昇降機、福祉用階段昇降機へとシフトしていきました。約45年前に世界で初めてポータブル式のクローラ式（キャタピラ式）の電動階段昇降機を開発し、国内のみならず北米・欧州を中心とした国々へ輸出をし、その売上比率は40%を超えるほどになりました。</p> <p>昨今は各地で起こる災害対応製品の開発も手掛け、車いす利用者や階段歩行困難者が、災害時にエレベーターが使用できない状況においても避難が可能な階段避難車を世に送り出しました。高齢化社会において要介護者の増加は災害弱者の増加を意味します。地震大国日本では避難体制づくりが急務であり、本製品は社会的ニーズに応えます。</p>			
株式会社渡辺製作所	さいたま市桜区道場 709-1	渡邊 伸治	製造業
作業員安全監視・緊急避難通知システム『ノックアラート』			
<p>当社は大正元年 10 月東京赤坂で創業、当時の通信省(現 NTT)へ通信部材の納入を開始し、戦争により一時中断したものの、昭和 22 年浦和市(現さいたま市)へ工場を新設移転し通信機器関連事業を継続している創業 111 年目を迎える地元を代表する企業です。</p> <p>本件は当社の得意とするセンサーを利用し上場企業より開発協力を得て誕生したシステムです。作業現場において安全監視機能と危険通知機能を併せ持ち、問題の早期発見、突発的危険発生時の回避を促し重大な事故を未然に防止します。本製品は従来製品に無い統括的安全管理機能を有し、土木工事に限らず労働災害の発生が危惧されるあらゆる業界で作業員の安全配慮に貢献致します。市販通常部品や低価格既存通信システムを利用した低価格化により、競争力を高めており保安・安全業界より高評価を頂いています。</p>			

SDG s 賞

(敬称略)

会社名	所在地	代表者名	業種
アイオライト株式会社	店舗入間市鍵山 1-8-21 狭山市入間川 2-15-18	関根 沙織	飲食業
奇跡のスーパーフード「モリンガ」を埼玉県産で食品商品化の取り組み			
<p>当社はスーパーフードと言われている「モリンガ」に着目し商品化のみならずモリンガの高い栄養価で世界中の子供を飢餓から救う事業を目指すことを経営理念に掲げて設立したものです。モリンガは高い栄養価を持ち、他の植物と比べて著しくCO₂削減に大きく寄与するスーパーフードとして脚光を浴びています。現在は埼玉県内の協力業者により、栽培・加工しております。「葉」の部位を食材とした食品を開発・製造することや「茎」の部位を効果的な肥料・飼料として活用することを見込んでおります。地域への貢献・働き方改革・循環型農業などでSDG sに取り組みます。また今後、契約農家栽培から自社栽培を目指し「モリンガ」の認知、普及を推進してまいります。</p>			

埼玉県地域産業資源活用賞

(敬称略)

会社名	所在地	代表者名	業種
有限会社戸田乳業	秩父郡小鹿野町小鹿野 1046-1	戸田 喜裕	乳飲料製造業
地域資源（チーズホエイ・果実）を活かした持続可能な酪農・乳業の取り組み ホエイを利活用した「ホエイのきもち（プレーン・かぼす・ブルーベリー）の開発」			
<p>小鹿野町にある牧場の牛乳、その牛乳から秩父市内のチーズ工房がチーズを作る過程で生じる副産物のホエイを廃棄することなく秩父地域内で連携し、自社技術で新しい飲料を開発したものです。2023年春に商品化、発売され小鹿野町のふるさと納税返礼品にも採用されています。</p> <p>地域資源（チーズホエイ、果実）を活かした持続可能な酪農との取り組み（秩父市・小鹿野町）としてフードファクトリー2023（東京ビッグサイト）にて展示会講演も行いました。地元の恵みを3社連携し、地元で循環させる取組みは、新しい循環型のビジネスモデルといえます。</p>			